

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	滋賀医科大学	整理番号	U03
プログラム名称	アジア非感染症疾患（NCD）超克プロジェクト		
プログラム責任者	山田 尚登	プログラム コーディネーター	三浦 克之

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

[総括評価]

一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、既設の博士課程との違いが明確ではないことから、改善する必要がある。またグローバルリーダーの具体像を明確にして、それを担当教員、学生のみならず大学全体で共有し、リーダー育成の道筋を明確にする必要がある。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、プログラムへの外部機関からの参画や学生への外部機関からの評価に関して実施あるいは実施予定であるが、汎用力の育成、多彩なキャリアパスの提示、修了者の社会での活躍状況を長期にわたり把握する仕組みの構築に向けて今後一層の努力が必要である。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、指導体制やグローバルな環境は、これまでに積み重ねてきた研究・教育実績に基づいて整備されているほか、国際ネットワークも形成されているが、大学全体で改革意識を共有することが必要である。

優秀な学生の獲得については、広報や経済的支援の実施により、優秀な学生もある程度獲得できているが、自大学からの参加者が少ない点は、今後その改善に向けて努力が必要である。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、2年次終了時のQEや4年次終了時の学位予備審査により整備されていると言える。

事業の定着・発展については、マネジメント体制の構築はなされているが、プログラムの検討・改善を図るための体制の構築及び支援期間終了後の定着・発展に向けて、今後、更なる努力が必要である。